

まち歩きと 防災マップ作成の手引き

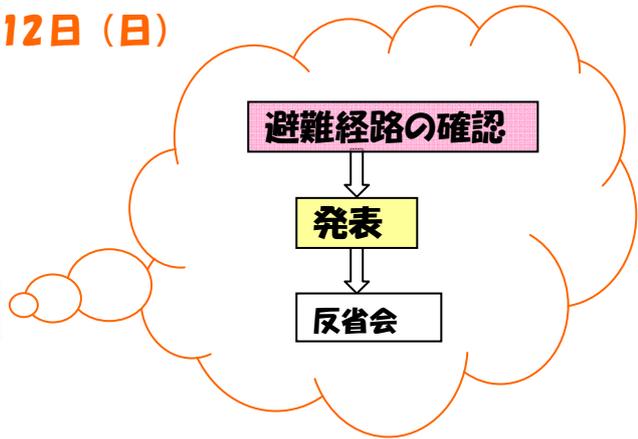
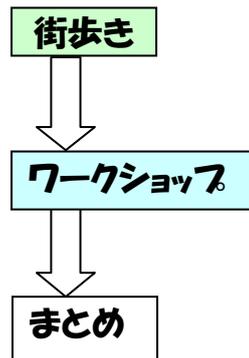
扇町・幸町地区

平成21年7月12日（日）

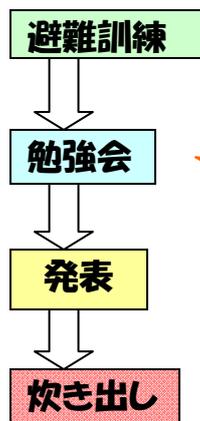
**二番丁コミュニティー協議会
扇町・幸町自治会
香川大学危機管理研究センター**

1. 今後の予定(案)

街歩き 7月12日(日)



避難訓練 8月2日(日)



- ・高松地方気象台
林 正典氏
- ・集中豪雨のスライドショー
- ・質問タイム

2. 現地調査・防災マップづくりの流れ

(1) 集合 (9:00)

集合場所：二番丁コミュニティーセンター

(2) 挨拶

(3) 調査方法の説明

(4) 班に分かれて現地調査 (1時間程度)

3つのグループ (案)、香川大学

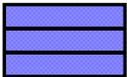
(5) 二番丁コミュニティーセンター集合 (10:30 を目標に)

(6) 防災マップの作成 (1時間程度)

(7) 8月2日に行う避難訓練の避難経路の確認

***現地調査には、香川大学工学部生も参加し、3班に分かれて、子供たち、保護者の方々と一緒に歩く予定です。**

3. 現地調査のチェック項目

- ★マンホール → 
- ★排水口 → 
- ★水路の位置 →  青（蛍光ペン）
- ★家塗り（H16年の台風の際に被害にあった住居）
 - 床上浸水 → 赤
 - 床下浸水 → 黄
 - 浸水なし → 青
- ★よく浸水するところ →  青
- ★気が付いた点 → ポストイットに記入
写真を撮影

(1) 準備物

- 地図（住宅地図）、クリップボード
- 色鉛筆、ボールペン、蛍光ペン、ポストイット
- カメラ
- 帽子、日傘、飲み物など

炎天下での作業になりますので、体調管理、日射病対策
などよろしくお願いします。

4. 役割分担

班 長：みんなをまとめる、チェック項目の最終確認

記録係：地図にチェック項目を記入(出来れば子供)

写真係：重要箇所を写真で記録

協 力：香川大学工学部

5. 地調査時の注意事項

• 事故に注意

◇ 調査に熱中するあまり、自動車に対する注意力が散漫となるので、事故防止に注意する。

◇ 上の方を見ていると、足元がおろそかになりがちなので足元に注意する。

• 熱中症に注意

◇ 朝、夕の涼しい時間帯に行い、帽子をかぶり、水分補給を心がける。

• フライバシーに配慮

◇ 調査にあたっては、個人のフライバシーに配慮し、トラブル回避に努める。

◇ フロック堀の診断には事前に所有者の了解をとる

6. 地域の災害危険箇所をワイワイガヤガヤ話し合います

- ・危ない場所はどこか、どれくらい危ないか？
- ・自宅は危ないのか、逃げなければならないのか？
- ・周囲に安全な場所があるか？
- ・災害にあったらどうするか？

7. グループでワイワイガヤガヤの結果をとりまとめます

8. 最後に、とりまとめたことをみんなに発表します。

✕E

ご協力ありがとうございました

